

社会福祉法人エンゼル福祉会
渋谷区かなみの杜・渋谷
2024 年度事業報告書

(1) 人材定着と人材育成

- ① 2024年度離職者数は13名。(2023年36名)退職者は2023年度と比較して減少した。減少した理由として、新規入職者に対して、適切にOJT指導が実施できるよう、おたけの郷へ体験的な研修を実施した。3か月間のOJTシステムが活用できるよう研修録の使用方法、面談の機会等を増やした。退職者は減少傾向にあるため、一定の効果が出たと考えている。引き続き、OJT指導を適切に実施していく。
- ② 2023年度週休3日制が理由に退職した職員が一定数いたことから、週休2日制のフロアを1フロア導入した。結果として、10時間勤務が身体上、私生活上合わない等を理由に退職したい旨の職員が2名いたが、週休2日制のフロアに異動し継続して勤務が出来ている。現状、1フロアのみ導入であるが、職員の話を含み取りながら他フロア導入も検討をしていく。
- ③ 委員会主催の研修会をオンライン・動画配信にて実施した。
- ④ 週1回月曜日9時より各フロア・部署がオンラインにて集まり施設からの伝達事項やフロアの悩み事、事故の共有をする時間を設けた。また、フロア会議・各委員会も適切に開催できている。

(2) 雇用について

入退職状況【年間】

			2024年度												合計
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護職員	正規	入職	2	1	3	0	1	0	1	2	0	1	1	1	13
		退職	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	5
	非正規	入職	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4
		退職	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	6
看護職員	正規	入職	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
		退職	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	非正規	入職	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活相談員		入職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護支援専門員		入職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理栄養士		入職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フロア責任者		入職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務 運転 清掃	正規	入職	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非正規	入職	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		退職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体		入職	4	1	3	2	1	1	1	3	1	2	2	2	23
		退職	1	0	0	2	1	0	1	1	1	1	3	2	13

- ① 職員数については、2024 年度は 23 名入職し 13 名退職。10 名増加となった。
- ② 採用について、インターネット媒体による応募が多かったが、ハローワーク、ホームページ、職員紹介など直接面接を申し込みされる方も多くみられた。2025 年度は、正規職員は不足分の採用と非常勤採用を積極的に採用していく方向性。

(3) 災害等の訓練について

I 他団体との連携

- ① 渋谷区かなみの杜・渋谷には、福祉生活事務所と地域包括支援センターが併設している。そのため、
2 団体と共同して総合消防訓練を実施し、特養フロアなどの避難経路などを確認する機会を設けた。
10 階建ての建物であるため、災害時の避難は階段を要することになり、人手が必要となる。そのため、車いすを使用する方の避難方法なども訓練内容に組み込んだ。

(4) 特別養護老人ホームの入居者支援の考え方

入居者の有する能力を最大限に発揮し、その方の暮らしの継続を支援します。入所者の暮らしに合わせた生活空間等の環境設定をする事で、「出来ることは自分で行う」「出来ないところは入居者同士で支え合う」といった「自助」「互助」の概念に基づいた支援を展開していきます。入居者自身(同士)が、生活の主体であり、施設の生活スケジュールではなく、入居者の生活軸を基に組み立てていきます。

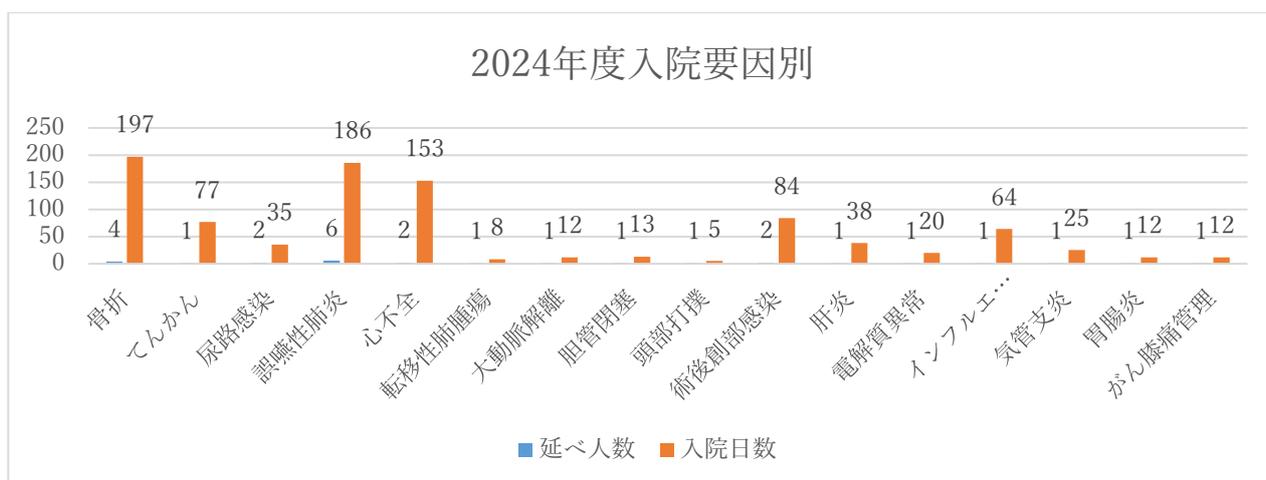
I 目標評価

- ① 年間目標稼働率 93.6% → **実績 87.1%**

2024 年 9 月にご案内できていないユニットがあったが、人員の体制が整ったため入居者をご案内した。すべてのユニットに入居者をご案内する形となったが退所が多く（入院から医療的処置が多く療養型へ等）入所が追い付かない状態になり目標稼働率に届かなかった。2025 年 4 月現在、空床は 1 床となっており、2025 年度は目標稼働率達成に向けて動いている。

- ② 防げる入院の減少 入院日数 700 日以内 ➡ **987 日**

2024 年度入院総日数は 987 日。入院の内訳として、骨折による入院が 197 日、誤嚥性肺炎 186 日、心不全 153 日であった。入院日数の内訳にて昨年度と比較して増加してしまった項目もあれば減少した項目もあった。下半期から入院者数、日数が増加したため、フロア・医務にて入院の分析を実施していたが、フロア会議に看護師が参加して一緒に入院分析をする時間を設けた。結果としてはまだ見えていないこと、入居者の状態もあるため予防することが困難なケースもあるが、肺炎、骨折、心不全等を中心に入院日数を予防していく。



フロアごとの入院日数

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5階	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	6	17
6階	0	0	0	0	8	6	8	0	27	62	40	26	177
7階	12	31	11	18	8	33	45	37	62	73	35	10	375
8階	0	0	0	0	0	19	54	13	0	0	12	0	98
9階	0	25	7	0	0	0	0	0	0	0	0	9	41
10階	18	21	0	0	1	26	40	62	19	31	21	22	261
合計	30	77	18	18	26	84	147	112	108	166	119	73	978

③ 職員育成

毎月行う研修会、委員会主催の研修については、動画配信を各個人ごとに研修を受ける形とした。また、ユニットリーダー研修参加1名、不適切なケアについての研修会3名、外部研修に参加した。研修を基に、施設内へ伝達研修を実施する予定である。

④ 看取り介護の推進

2024年度は看取り件数8件（2023年度12件）うち家族が最後の時間立ち会うことが出来たケースへ3件であった。（2023年度6件）（立ち合いを希望されたご家族5組であった）
介護からの吸状態や状態が看護へ報告があり、家族へ適切な報告が出来つつある。また、眠りスキャンを活用することで呼吸状態もデータ分析ができるため予測する上での必要な根拠となった。現在、看取り介護の加算算定には至っていないが、現状、家族への定期的な連絡、研修体制等が整備できるため、2025年度中より看取り介護加算について算定予定である。

⑤ 見守り支援機器の有効活用

現在、見守り機器としてアイホン製の見守りカメラ、眠りスキャンを導入している。見守りカメラ・眠りスキャンを活用して、巡視回数を5回→2回に減少させたり、訪室せずカメラで確認することとして訪室による入眠の妨げも予防することにも繋がった。看取り介護の方にも眠りスキャンを活

用することで、介護職員のメンタル的な不安解消にもつながっている。

⑥ 事故の削減

2024年度	総件数	転倒	転落	ずりおち	誤薬	与薬忘れ	外傷	表皮剥離	低温やけど	誤食	誤嚥	離脱	その他
4月	13件	3件	2件	2件	1件	3件	1件	1件	件				
5月	10件	3件	1件		件	件	2件	2件	件	1件			1件
6月	12件	4件			2件	1件	1件	3件					1件
7月	24件	8件	1件		1件	6件	6件	件					2件
8月	16件	3件	1件	1件	1件	2件	4件	2件			1件		1件
9月	18件	3件	3件		1件	4件	2件	2件					3件
10月	19件	6件	2件		4件	3件	4件						
11月	18件	1件	7件	2件		1件	5件			1件			1件
12月	20件	6件	1件	2件	1件	2件	7件						1件
1月	17件	10件			1件		3件	1件		1件			1件
2月	13件	5件	1件		1件	1件	3件						2件
3月	20件	4件	5件		5件	1件	4件						1件
合計	200件	56件	24件	7件	18件	24件	42件	11件	件	3件	1件	件	14件

2024 年度事故件数 200 件。内訳は上表通り。転倒事故が一番多く、続いて外傷の事故が多く発生した。事故防止委員会を中心に、転倒・転落・ずり落ちに関して、対策などに注力してきたが件数が減少するまでつながらなかった。2025 年度は事故発生から検討会を実施し、事故検証・対策立案に施設全体で取り組んでいく。

⑦ 新型コロナウイルス感染症予防

感染症対策を日常的に継続的に実施した。ガウンテクニックについては、職員全体へ実施訓練を実施し、看護師を中心にゾーニングの勉強会を実施した。2024 年 7 月、2025 年 1 月にフロアにて新型コロナウイルス陽性者が判明したが、他フロアへの感染は予防でき、クラスターを予防することは出来た。

(6) 高齢者在宅サービスセンターにおける利用者支援の考え方

利用者が「尊厳と自立」に満ちた生活を送るため、安心して利用できる信頼度の高い介護サービスを提供する。

利用者一人ひとりの人格を尊重し、様々な疾病を患い介護が必要な状態になっても、利用者自身の「意思」を汲み取り、そして可能な限りその「意志」を尊重し、自己決定に向けた支援を行う。

利用者の住み慣れた地域及び居宅での生活が安心して継続できるよう、日常生活で必要となる動作の機能回復に繋がる活動を提供し、自立支援・在宅生活の継続に向けたサービスを推進し、ご家族や担当の介護支援専門員、他の居宅サービスや医療サービス等との連携や事業所内での情報共有を行い、利用者の心身機能の維持・向上に繋げることをしたい。

① 地域に認められ、安定した経営をするための稼働率の確保

I 一般型通所介護

目標稼働率 63.0% → 51.2%

通所介護(一般)	定員 35 名		2024年度月別実績データ										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313
定員数	910	945	875	945	945	875	945	910	910	945	840	910	10,955
目標利用人数	478	507	480	530	541	512	564	554	565	598	542	605	6476
利用実績数	442	522	427	447	456	438	456	433	479	514	520	586	5720
平均利用者数	17.0	19.3	17.1	16.6	16.9	17.5	16.9	16.7	18.4	19.0	21.7	22.5	17.9
目標稼働率%	52.5%	53.7%	54.8%	56.1%	57.2%	58.5%	59.7%	60.9%	62.1%	63.3%	64.5%	66.5%	63.0%
月別稼働率	48.6%	55.2%	48.8%	47.3%	48.3%	50.1%	48.3%	47.6%	52.6%	54.4%	61.9%	64.4%	51.2%
計画	442	522	427	447	456	438	456	440	479	514	539	586	
中止	154	91	97	110	139	130	122	111	136	188	111	148	
実施・中止 合計	596	613	524	557	595	568	578	551	615	702	650	734	
新規利用者	3	4	6	4	3	0	0	9	8	4	8	7	56
契約解除者	0	2	7	0	1	1	3	2	1	1	4	1	23
登録者数	64	67	71	73	66	65	65	69	74	82	76	85	71.4
平均介護度	2.79	2.87	2.5	2.8	2.8	2.9	2.8	2.7	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8

稼働率は目標に対して80%の達成率となり未達だった。

新規利用者の受け入れを継続的に進めたものの、新規利用者による利用増加に対して利用中止による利用減少の方が上回った結果、上半期は利用実績が横ばいとなった。

下半期は近隣の通所介護事業所の閉鎖に伴う新規利用者の相談が増えた。職員の採用や業務の効率化を図った結果、稼働率を伸ばすことができた。

新しい居宅介護支援事業所との繋がりができたことで、次期以降につながるように対応していく。

○ 車両事故について

- ・ 2024 年度に通所介護事業所の送迎に掛かる車両の運行において車両事故が 11 件発生した。8 月にはブレーキとアクセルの踏み間違いによる重大事故により地域の方に多大なご迷惑をおかけしてしまった。
- ・ かなみの杜において過去に事故があった職員 4 名は 11 月 18 日と 22 日にコヤマドライビングスクールにて事故違反者講習を受講し、運転技術の確認と運転手各々の注意すべき点の確認をした。次年度は車両事故を 0 にすることを念頭に置いて各種の対策を取っていくことにする。

○ ICT 機器導入支援事業への参加

- ・ 渋谷区が主催した ICT 機器導入支援事業に参加協力した。送迎表自動作成ソフト (DriveBoss)、インカムシステム (BONX)、アシストスーツを試験した。検証の結果、送迎表自動作成ソフトについて使用した際の効果が特に高いと認められた。

II 認知症対応型通所介護

目標稼働率 20.5% → 14.8%

通所介護(認知症対応型)	定員 12名												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	24	26	313
定員数	312	324	300	324	324	300	324	312	312	324	288	312	3,756
目標利用人数	31	32	45	45	58	57	71	72	81	84	95	94	766
利用実績数	47	50	49	43	48	38	43	45	45	50	47	49	554
当日キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目標平均利用者数	1.2	1.2	1.8	1.7	2.2	2.3	2.6	2.8	3.1	3.1	4.0	3.6	2.6
平均利用者数	1.8	1.9	2.0	1.6	1.8	1.5	1.6	1.7	1.7	1.9	2.0	1.9	1.7
目標稼働率%	10.0%	10.0%	15.0%	14.0%	18.0%	19.0%	22.0%	23.0%	26.0%	26.0%	33.0%	30.0%	20.5%
月別稼働率	15.1%	15.4%	16.3%	13.3%	14.8%	12.7%	13.3%	14.4%	14.4%	15.4%	16.3%	15.7%	14.8%
新規利用者	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
契約解除者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
登録者数	3	3	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	3.7
平均介護度	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.9	4.9	4.9	4.9	4.6

認知症対応型の利用実績は横ばいの結果となり、未達だった。

利用希望の相談件数が少なかった。

次期以降で稼働率を大きく改善していく必要がある。積極的な営業活動など必要な対策を取る。

III 総合事業通所型サービスA

目標稼働率 56.7% → 14.2%

通所介護(サービスA)	定員 20名												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日数	22	23	20	23	22	21	23	21	20	20	20	21	256
定員数	440	460	400	460	440	420	460	420	400	400	400	420	5,120
目標利用人数	132	161	160	207	220	252	322	294	280	280	280	294	2882
利用実績数	61	70	67	74	61	61	62	57	58	56	41	59	727
当日キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
目標平均利用者数	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	11.3
平均利用者数	2.8	3.0	3.4	3.2	2.8	2.9	2.7	2.7	2.9	2.8	2.1	2.8	2.9
目標稼働率%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	60.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	56.7%
月別稼働率%	13.9%	15.2%	16.8%	16.1%	13.9%	14.5%	13.5%	13.6%	14.5%	14.0%	10.3%	14.0%	14.2%
新規利用者	0	1	1	0	0	0	0	3	2	0	0	0	7
契約解除者	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
登録者数	19	20	21	20	20	20	20	22	24	24	24	24	21.5

総合事業の実績は横ばいで推移した。

一般通所介護と認知症対応型通所介護の新規利用者受け入れを進めていくことに注力している。

② 困ったときに頼ってもらえる事業所づくり

地域のニーズに合わせて事業所としてできる限りの対応を取って運営を進めた。

特に医療依存度の高い方は近隣のデイサービスから利用を断られることもある。インスリン注射が必要な方（1名）、経管栄養による栄養剤の注入（2名）、バルーン留置カテーテル（2名）やストマーを装着されている方（1名）を断ることなく受け入れた。

医療機関との連携についても積極的に行っており、ケアマネージャーと確認を取りながら医療機関の医師に連携することで利用者の容体悪化に対して早期に発見することができた事例もあった。

また、認知症実践者研修修了者を2名増員することができた。その職員が中心となって対応の方法を検討したことによって認知症を抱えている方でも認知症の周辺症状を発現させることなく穏やかに過ごすことができた。

いずれの対応についてもケアマネージャーと連携をすることを意識した。

引き続き医療依存度の高い方と認知症を抱えている方への対応力の向上に注力していく。

IV 居宅介護支援事業者

① 給付管理件数 30 件/月（介護予防（通減率 1/3 含む）毎月達成

2024年度を通して介護・予防合わせた月平均の給付管理件数は32件と目標達成となった。R6年9月に事務職員の採用による事務作業の負担の軽減、業務の効率化が図れたことが要因となった。

② 認定調査、年間 200 件達成

2023年度の認定調査の実施件数199件を見込んでいたが、2024年度は179件、月平均15件の実施。クレーム、苦情なく安定した事業運営となった。

③ 内外部監査等において指摘事項が存在しない事業所の運営

R6年12月の内部監査では、この4月から法令上義務化された研修・訓練、委員会等に関する指摘事項が散見される34件の指摘がある結果となった。改善に取り組み信頼できる事業所の運営を目指す。

2024年度 居宅介護支援事業所実績

介護給付件数	人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標給付数	1	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
2024給付管理件数	1	28	27	26	25	29	31	33	33	33	33	33	34
予防/地域支援事業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024委託費請求件数	1	6	7	7	8	6	7	7	6	6	5	5	5
介護/予防合計常勤換算数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標給付数	1	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
2024一人当り実績数	1	30.0	29.0	28.0	27.0	31.0	33.0	35.0	35.0	35.0	34.0	34.0	35.0
認定調査		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024認調委託件数	1	12	23	14	12	8	11	14	13	20	23	12	17

V 介護予防総合事業（元気すこやか事業）

渋谷区からの委託事業であり、創作活動や運動などを行う講座を開催し、高齢者が要支援・要介護状態になることを予防し、高齢者の健康づくりを促進するものである。渋谷区内に住所を有する 65 歳以上で、自分で通所可能な方が対象。

特段、問題なく 2024 年度を経過することが出来た。新たに、オンライン講座も増え、新規の講座開設などもあり順調に事業は経過している。

- ・運動講座

エアロビクス、ヨガ、健身操、太極拳、ピラティス、ポールウォーキング、健康体操など

- ・文化講座

英会話、詩吟、書道、水墨画、水彩画、コーラスなど

① 一般社団法人 SmileSpirit との連携での事業（渋谷区委託事業）

2021 年 6 月上旬半期、下半期に分けて事業実施。かなみの杜職員と一般社団法人 SmileSpirit（渋谷区内でシニアチアダンス等の活動をしている団体一部委託）と連携して実施。緊急事態宣言やまん延防止の期間について渋谷区と協議し開催を控えた時期もあったが、大きなトラブルもなく 1 年を経過することが出来た。